



感染対策だより

院内感染対策委員会発行：第 60 号 令和 3 年 2 月

感染性胃腸炎とは

細菌やウイルスなどの病原体による感染症です。

ウイルス感染による胃腸炎が多く、毎年秋から冬にかけて流行します。



原因と感染経路

原因となる病原体：ノロウイルス、ロタウイルスなどのウイルスのほか、細菌や寄生虫もあります。

感染経路：病原体が付着した手で口に触れることによる感染（接触感染）、

汚染された食品を食べることによる感染（経口感染）があります。



症状

潜伏期間：1～3 日程度。

ノロウイルスによる胃腸炎では、吐き気、おう吐、下痢、発熱、腹痛であり、

小児ではおう吐、成人では下痢が多い。

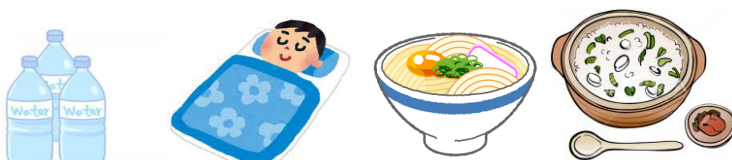
有症期間：平均 24～48 時間。

ロタウイルスによる胃腸炎では、おう吐、下痢、発熱、乳児ではけいれんを起こすこともあります。

有症期間：5 日～6 日 感染しても発症しない場合や、軽い風邪のような症状の場合もあります。

治療：症状に対しての対症療法

下痢等による脱水症状を生じることがありますので早めに医療機関を受診することが大切です。特に高齢者は、誤嚥（おう吐物が気管に入る）により肺炎を起こすことがあるため、体調の変化に注意し発熱などの症状がある場合は早めに受診しましょう。おう吐の症状がおさまったら少しずつ水分を補給し、安静に努め、回復期には消化しやすい食事をするよう心がけましょう



ロタウイルスによる感染症については、予防接種ワクチンがあり、乳幼児を中心に接種を受けることが行われています（任意接種）。

ノロウイルスについては、予防接種はありません。

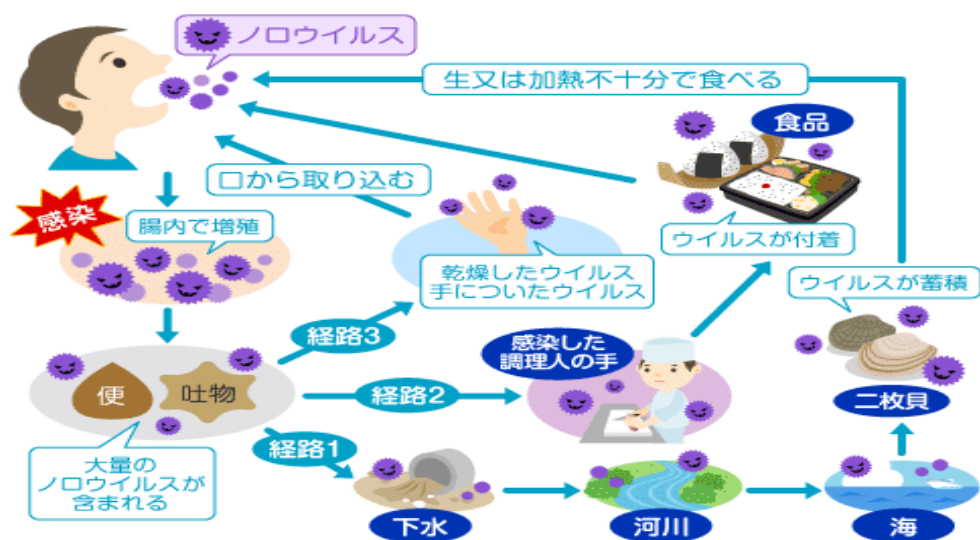
ノロウイルスによる感染性胃腸炎・食中毒

流行時期：一年を通して発生していますが、特に冬季に流行します。

症状：ヒトの腸管で増殖し、おう吐、下痢、腹痛などを起こします。

感染経路：手指や食品などを介して、経口で感染

- 患者のノロウイルスが大量に含まれる便や吐ぶつから人の手などを介して二次感染した場合
- 家庭や共同生活施設などヒト同士の接触する機会が多いところでヒトからヒトへ飛沫感染等直接感染する場合
- 食品取扱者（食品の製造、飲食店における調理従事者、家庭で調理を行う者などが含まれます。）が感染しており、その者を介して汚染した食品を食べた場合
- 汚染されていた二枚貝を、生や十分に加熱調理しないで食べた場合
- ノロウイルスに汚染された井戸水や簡易水道を消毒不十分で摂取した場合



予防のポイント

十分な手洗い

爪は短く切り、指輪は外し、石鹸を十分に泡立ててしっかりと洗います。

流水でしっかりと洗い流します。

よく除菌などに使用されるエタノールでは効果ありません。



食品の十分な加熱

一般的にウイルスは熱に弱いので、食品は中心までしっかりと加熱します。

85～90℃で90秒以上！



家族や自分がノロウイルスに感染したら

ノロウイルスは感染した人の便や、吐いたものには大量にノロウイルスが含まれています。
ごくわずかな排泄物でも沢山の人を感染させる力があります。
下痢などの症状がなくなっても、通常は1週間、長い時で1ヶ月ほどもウイルスが排泄されます。



吐物の処理には 次亜塩素酸ナトリウムが効果的です。
家庭用の塩素系漂白剤で代用できます。

【参考:簡易なハイター等の薄め方】(市販の漂白剤：塩素濃度約 5%の場合)

0.02%・・・環境消毒に使用

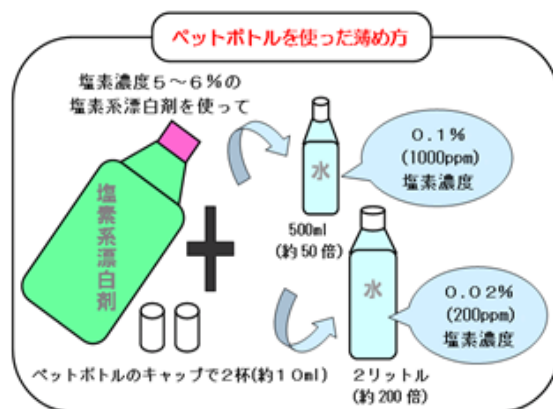
0.1%・・・吐物・便が付着した場合の処理に使用

(注) 次亜塩素酸ナトリウムは金属を腐食させるため、金属部分に使用した場合は 10 分程度たったら水拭きしてください。

また、塩素ガスが発生することがあるので、使用時は十分に換気をしてください。

濃度 (希釈倍率) 希釈方法

0.02% (200ppm)	2 リットルのペットボトル 1 本の水に 10ml (原液をペットボトルの キャップ 2 杯)
0.1% (1000ppm)	500ml のペットボトル 1 本 の水に 10ml (原液をペットボトルの キャップ 2 杯)



家庭での嘔吐物処理方法



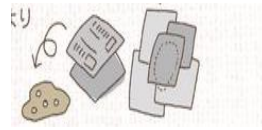
【準備するもの】



手袋がない場合はビニール袋と輪ゴムで代用できます

家族が嘔吐したら

- 1 ビニール袋を渡してトイレに移動する。
- 2 窓を開け換気をよくする。
- 3 家具を移動させ処理しやすいようにスペースをつくる。
- 4 吐物にティッシュペーパー、又は新聞紙をかぶせ、消毒剤をふりかける。
- 5 手袋、マスク等の防護具をつける。
- 6 ビニール袋を準備する。(口を開いておく)
- 7 吐物を包み込むようにしてビニール袋に入れる。
(外から内側に集めるようにする)
- 8 ビニール袋に回収したらすぐに封をする。
- 9 ペーパータオルを嘔吐物がかかった部分の3倍程度の広さに広げる。
- 10 消毒剤をペーパータオルにふりかける。(10分間そのまま放置)



- 11 もう一つのビニール袋に使用した物品を入れる。(ウイルスがついている可能性があるため)
- 12 10分後新しい手袋でペーパータオルを回収する。
- 13 消毒液が掛かった部分を不要のタオルで水拭きする。
- 14 処理後は2回手洗いしましょう。



吐物がかかったシーツ類は、バケツにビニール袋をかぶせ、熱湯をかけて消毒する。
使用した手袋をビニール袋に入れて封をする。



※洗えないものはスチームアイロンなどで熱処理するとよいです。

(ウイルスは85℃以上1分で死滅するため)

※処理の時に着ていた衣服も熱消毒します(その後洗濯機で洗いましょう)

